



↑ 氏.7946 解久喜市史レード



氏.11146 田代忠信の功績賞状



↑ 氏.8462 地域振興券の取扱店 ステッカー

↓ 氏.9274 埼玉県知事の手紙「致謝状」



公文書で見る久喜市の組織

評価選別の成果と行政資料の数々



↑ 氏.11061 昔藩町50年のあゆみ ポスター



氏.11122 おしんや郷土かるた



氏.11117 巨大魚ハクレンDVD

H24.8.21 (水) ~ H24.10.31 (水)



- 開館時間: 午前9時~午後5時 ●入館無料
- 休館日: 土曜日・祝日(日曜日は観覧できます)

■久喜市下早見5-1(市役所西側) TEL.0480-23-5010

URL: <http://www.city.kuki.lg.jp/shisei/kobunsho/kobunsho.html>

■交通案内: 京浜東北線・東武東上線 久喜駅西口下車徒歩7分

過去に学び未来を見つめる **久喜市公文書館**

企画展「公文書で見る久喜市の組織・評価選別の成果と行政資料の数々」を開催するにあたって

この度、第3回公文書館企画展「公文書で見る久喜市の組織・評価選別の成果と行政資料の数々」を開催しました。久喜市公文書館は、公文書の管理と市政情報の公開という重大な使命のもと、近隣の市町村に先駆けて平成5年10月に開館しました。

これは、久喜市にとって誇りとなる先進的な施設ともいえます。当館の役割は、「久喜市公文書館条例」に次のように謳っています。

【 歴史公文書(市の各機関が作成した公文書等の中から歴史資料として重要な市の公文書その他の記録)を保存し、市民の利用に供するとともに、市政に関する情報を市民に提供し、もって学術及び文化の発展と開かれた市政の推進に資する 】

しかしながら、実際に公文書館で行われている具体的な活動業務については、広く知られていないところもありました。今回、公文書館の業務の主要な部分を占める「評価選別」により得られた「歴史公文書」について、久喜市の各組織で行われている事務内容と照らし合わせながら紹介しますとともに、当館に所蔵されている行政資料についても、同様に紹介します。

「公文書管理法」が平成23年4月に施行された現在、公文書館の役割は、ますます高まっています。今回の企画展をとおして、市民の皆様が公文書館を活用していただく際の、参考になれば幸いです。最後に、今回の展示を開催するにあたりまして、ご協力をいただきました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

平成24年8月

久喜市長 田中 暄 二

「評価選別」とは

「評価選別」とは、保存年限を満了した公文書や、30年保存文書で25年を経たものの中から、公文書館の職員が議論をしながら、未来に残すべき重要な歴史資料となる市の公文書を、選び出すことです。これには、100年後や200年後の人たちが、市の歩みを知ろうとする際に必要となる公文書を残すという、大変重い責任を伴います。

「行政資料」の提出とは

「行政資料」の提出とは、市民の皆様を提供することを目的として、久喜市で作成したパンフレット等が、公文書館に各3部、必ず主管課から提出される制度です。

又、事務を遂行する上で重要な指針となり利用頻度が高く、まとまっているものを、主管課が整理した上で、公文書館に移管される場合もあります。

「歴史公文書」とは

歴史資料として重要な市の公文書のことを言いますが、この「歴史公文書」は次の2種類に分類されます。

【 特定歴史公文書 】:公文書館職員の「評価選別」により、残される事となった公文書です。

【 行政資料 】:「行政資料」の提出により、当館に所蔵されたパンフレット等のものです。

【総務部】 秘書課、広報広聴課、庶務課、人事課、企画政策課、人権推進課、公文書館

No. 7946 新久喜音頭 喜びの街 レコード

旧久喜町は昭和46年10月1日に市制施行し、久喜市となりましたが、その時の記念として作成されたレコードです。A面には「新久喜音頭」、B面には市民歌「喜びの街」が収録されています。「新久喜音頭」は、名刹「甘棠院」や特産品の「梨」、久喜の「提燈祭り」等が歌詞に盛り込まれ、市内の盆踊り等に使用されています。

No. 5023 市政施行30周年記念エコーはがき

「エコーはがき」とは、売価50円の内、5円を広告主等が負担することにより、はがきの下部スペースに広告等を印刷したものです。この「エコーはがき」は、久喜市制施行30周年を記念して、平成13年に作成されました。

No. 8526 元号を改める政令等について

昭和最後の日であった「昭和64年1月7日」付けで、全国市長会の会長から久喜市長宛に送付された、元号が「昭和」から「平成」に変更される旨が書かれた公文書です。皇位の継承が、その変更理由として挙げられています。久喜市の受付印の元号と年号の部分が削られ、「平成元。」と手書きされており、当時の慌しさを物語る、歴史的な資料となっています。

No. 1 町勢要覧 久喜 1964

昭和39年11月28日に、新町(町村合併)10周年を記念して、当時の久喜町で発行された「町勢要覧」です。新町10周年の際には、町章も定められましたが、現在でも、マンホールのフタ等に見掛ける事が出来ます。

資料の番号は、No.1となっていますが、これは、久喜市公文書館が所蔵する1万2千点もの資料の内、最初に登録されたという事をあらわしています。

No.11598 行政文書の用紙規格のA判化の実施について

現在では、公文書は世界的な標準規格である「A判」で作られるのが一般的ですが、かつては「B判」が主流でした。平成5年4月から、国の行政機関において、国際化を視野に、公文書を「A判」で作成するようになり、その国の方針内容が久喜市に送付されたものです。

市町村でも、国に準じて「A判」化していき、現在では特殊なものを除き、「B判」の紙は使われていません。

No.12428 職員証写真エンボス加工機

旧久喜市において、職員証に貼付する写真の貼り替え防止策として、エンボス加工(写真や紙に凹凸を出させる技術)による割印を実施していましたが、その割印を押すための機械です。当時の市章が割印のデザインとして描かれ、写真や紙に市章が浮き出るようになっていました。現在では、あまり見掛けなくなった機械です。

公文書館では、紙に書かれた公文書以外にも、このような行政資料を、多数所蔵しております。

No.10169 即位礼正殿の儀の行われる日を休日とすることの取扱い等について(通知)

天皇陛下が即位の儀式をされた、平成2年11月12日は、国民こぞって祝意を表すため、法律により休日とされました。久喜市においても、条例により、休日とされましたが、これは、当時の久喜市総務部から久喜市内の各部署に対し休日となる旨を周知したものです。

No.11607 完全週休二日制の実施に伴うポスターの掲示及び立看板の設置について(報告)

かつて、行政機関や学校では、土曜日は、午前中については勤務・授業があり、午後から休みというのが一般的であり、「半ドン」という言葉もありました。久喜市役所においては、平成5年1月から「完全週休二日制」を導入しましたが、その周知用のポスターの掲示等をした際の報告書です。

No.11636 「皇太子徳仁親王の結婚の儀の行われる日を休日とすることの取扱いについて」の送付について

皇太子陛下が結婚の儀式をされた、平成5年6月9日は、国民こぞって祝意を表すため、法律により休日とされました。この文書には、今回の休日の取扱い等について、詳細に記載したものが添付されており、全国市長会から久喜市長宛へ、事務の参考用として送付されました。歴史的な国の行事に関係する、貴重な資料といえます。

No.10678 久喜市合併記念式典

平成22年11月7日に、久喜市総合文化会館大ホールで開催された、久喜市合併記念式典の際に配布された、記念冊子です。表彰に関する内容が書かれています。新久喜市の誕生を語る上で、貴重な資料です。

No. 5613 人権、それは世界の共通語

国民の基本的な人権を守るため、人権擁護委員法に基づく人権擁護委員が、相談料無料で「人権相談・女性相談」を行っています。このチラシは、毎月10日に相談を承っている旨を周知したものです。久喜市の人権行政の歴史を語る上で、貴重な資料となります。

No.11524 人権教育のための国連10年久喜市行動計画に伴う実施計画の進捗状況並びに見直し調査結果について

1994年の国連総会において、1995年から2004年までを「人権教育のための国連10年」とすることが決議されました。これは、「人権という普遍的な文化」が、世界中で構築されることを目指すものです。

久喜市においても、この決議に基づき行動計画が策定され、人権教育及び人権啓発に関する各種の施策を推進しています。これは、平成13年度の進捗状況を記録したものです。

No.12449 「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」の施行に伴う 拉致問題に関する対応について

北朝鮮当局による拉致問題は、早急に解決すべき人権問題の一つです。この拉致問題の啓発ポスターを、日本国中に貼る事となり、久喜市においても県を通じて、ポスター掲示等の対応について通知がありました。

これはその通知の写しになります。国・県・市町村が一丸となって、人権問題に取り組んでいる事が分かります。

【財政部】 財政課、管財課、契約検査課、市民税課、資産税課、収納課

No.10673 市章のデザイン募集<チラシ>

旧久喜市・旧菖蒲町・旧栗橋町・旧鷲宮町が合併して誕生した、新「久喜市」の市章のデザインを募集した際のチラシです。「豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市～人と愛、水と緑、市民主役のまち～」に、ふさわしいデザインのものを募集しています。合計2,046作品の応募があり、現在の市章(表紙右上参照)が決定しました。

No. 65 久喜市庁舎建設の記録

現在の久喜市役所庁舎は、市の人口増加等に伴い狭あい化した元々の庁舎(現在の中央公民館の位置に所在)の建替が検討された事により、建設されたものです。昭和54年3月に着工し、昭和55年9月8日には、庁舎での業務を開始しました。これは、昭和55年11月14日の竣工式に合わせて刊行された記念誌です。「配置」や「構造」、「設備」等の詳細が記録されています。

No. 7746 コンピュータ西暦2000年問題危機管理計画

西暦2000年問題とは、コンピュータが西暦年数の下2桁のみを扱っている事により、1999年から2000年になる際、「00年」を2000年ではなく、1900年と誤認し、システムが正常に作動しなくなるというもので、実際に2000年1月1日にならないと、何が起るか分からないとして、大変危惧されていました。久喜市では、この「コンピュータ西暦2000年問題危機管理計画」を策定し、不測の事態に備えましたが、コンピュータのエラー等は発生せず、無事に2000年を迎える事ができました。2000年代の幕開けを象徴する資料です。

No.12531 PCB安定器使用蛍光灯の調査結果について(報告)

かつてPCB(ポリ塩化ビフェニル)は、安定性に優れている事から、電気機器の絶縁油等に多用されていましたが、発ガン性がある事が判明し、製造が禁止されました。しかし現在でも、古い蛍光灯の部品から、PCBが漏れ出す事故が発生しています。これは、久喜市内の公共施設で用いられている古い蛍光灯に、PCBが使用されていないかどうかを確認した際の記録です。調査したところ、PCBを使用した蛍光灯は、存在しないという結果でした。

No.12112 久喜市納税組合感謝状贈呈式 写真

納税組合は、地域や職域ごとに税金の納付を取りまとめし、税金の滞納等を発生させないものとして、全国的に設立されていました。久喜市においても、地域ごとに、様々な納税組合が存在していましたが、ある一定の成果を挙げ、役割を終了したものとして、全て解散しました。

これは、納税組合が解散した際、納税組合長等に久喜市から感謝状が贈られた時の写真集です。

【市民部】 自治振興課、生活安全課、消防防災課、市民課(総合窓口)

No. 1079 平成6年度 久喜市青少年洋上研修 感想文特集

次代を担う青少年の健全育成を目的に、平成6年度に実施された「洋上研修」の参加者の感想文をまとめたものです。東京の有明湾から乗船し、船内で班員同士が協同作業をしながら沖縄県まで行き、レクリエーションや当地の青少年との交流を通じて、様々な事を考え学び、成長していった事が良く分かる資料です。

No. 6682 阪神大震災の被災者に対する見舞金について

平成7年1月17日、明石海峡を震源とする、未曾有の大地震が発生しました。関東地方にある久喜市においても、揺れを感じた程です。震源に近い神戸市では、甚大な被害を受け、沢山の方々が亡くなりました。これは、被災者に対する見舞金を兵庫県へ送った時の記録です。今回の東日本大震災においても、数々の公文書が作成されていますが、将来の市民の皆様の生命・財産を守るためにも、当公文書館に残していく予定です。

No. 1024 米穀の配給要綱 昭和28年5月、No. 1023 生産世帯用主要食糧購入通帳 昭和31年

かつての日本には、戦時下に制定された食糧管理法に基づく、米の配給制度が存在しました。この配給を受けるには、いわゆる「米穀通帳」が必要でした。戦後の食糧不足の時代を経て、実際の米の配給は姿を消しますが、制度上は昭和56年まで、市町村での通帳の発給が続いていました。

これは、配給制度が実際にあった時代の、配給要綱と米穀通帳の現物です。

No.11663 復命書(本籍地番の「の」の表示について)

戸籍の本籍地については、例えば「△△市××123番地4」となっていますが、以前は「△△市××123番地の4」と、枝番の前に「の」を加えて記載していた時期がありました。平成5年2月24日に近隣市町と打合せした際の復命書の中に、本籍地番の「の」の表示について、統一的な取扱いで省略していく旨のメモが記載されています。

題名の「復命書」からは、こういった内容を読み解く事は出来ません。公文書館において、一点一点内容を確認(評価選別)したことにより、歴史公文書として残す事が出来ました。

No.11896 「7万人目の市民」選定要領について

平成24年8月現在の久喜市の人口は、155,880人です。男性が77,970人、女性が77,910人です。又、世帯数は61,220です。合併により、新久喜市は15万人以上の人口を有する市となり、更なる飛躍が期待されます。旧久喜市では、昭和46年の市制施行(人口35,936人)から21年目の平成4年に人口が7万人となる事が予想され、その7万人市勢のスタートを記念して「7万人目の市民」を選定する事となり、これは、その時の選定要領になります。平成4年10月20日に人口が7万人となり、「7万人目の市民」には、認定証と記念品が贈呈されました。

【環境経済部】 環境課、農業振興課、商工観光課

No. 7396 久喜市のアスベスト対策について

石綿(アスベスト)は、静かな時限爆弾とも呼ばれ、アスベストの粉塵を吸い込むことにより、悪性中皮腫等の病気を引き起こす原因となっています。そのため、平成16年10月から、アスベストを含む製品の新たな製造・使用は原則禁止されました。久喜市においても、アスベスト使用の実態調査が行われ、大気中のアスベスト濃度が、通常の空気と同様のレベルであることが、確認されました。

No.12546 ふるさと農園久喜「第2回そば打ちコンテスト」の開催について

「しみん農園久喜(六万部地内)」に併設する緑風館では、久喜産のそば粉を用いる「手打そば体験」を実施しています。第2回そば打ちコンテストでは、優秀賞として、久喜産そば粉3キログラムが贈呈されました。

No. 8988 天皇陛下御即位十年奉祝行事への貴市郷土芸能ご出演に関するお願い

No. 8989 天皇陛下御即位十年奉祝パレード写真

平成11年11月12日に、皇居前広場と皇居外苑の周辺にて「天皇陛下御即位十年をお祝いする国民祭典」が、開催されました。「久喜提燈祭り」についても、郷土芸能として出演依頼があり、奉祝パレードに参加しました。

これは、天皇陛下御即位十年奉祝委員会からの正式な依頼文と、奉祝パレードでの提燈祭りの山車の様子等を記録したアルバムです。

No. 3959 暮らしと地域が華やぐ“地域振興券”、No. 8463 「地域振興券取扱店」(ステッカー)

「地域振興券」は、国の制度として、地域経済を活性化することを目的に、平成11年3月15日から対象者に対し配布され、地域限定の金券として使用できました。このチラシは、申請・交付場所や「地域振興券」に関するQ&A等を記載したものです。又、市内で使用可能な店舗には、このようなステッカーが貼られました。

【福祉部】 社会福祉課、障がい者福祉課、介護福祉課、子育て支援課、保育課

No. 9274 書「敬老」(埼玉県知事 大沢雄一)

大沢雄一氏は、明治35年に埼玉県吉川市に生まれ、昭和24年5月17日から昭和31年5月29日まで、埼玉県知事の職にありました。この額は、養護老人ホームと高齢者デイサービスセンターの併設施設である偕楽荘(かいらくそう)に、飾られていたものです。「敬老」の精神をあらわした、貴重な歴史資料となります。

【健康増進部】 健康医療課、中央保健センター、国民健康保険課

No. 7809 O-157対策について

腸管出血性大腸菌(O-157)は、加熱不十分の食べ物等から感染し、僅かな菌の数であっても、食中毒を発症させます。平成8年に岡山県で発生した集団感染により、広く知られるようになりました。

久喜市では、感染予防策(食材の十分な加熱)を記載したチラシを3万枚配布すると共に、公共施設の消毒等を実施するなど、感染予防に迅速に対応しました。

【建設部】 建設管理課、道路河川課、営繕課、都市計画課、都市整備課、開発建築課

No.12430 久喜町大字六万部地内町道延長・幅員杭帳

No.12431 吉羽西道路杭帳

No.12432 上清久道路杭帳

杭帳(くいちょう)とは、土地と土地との境を書き留めた資料で、風水害等により境界が判明しなくなった場合であっても、杭帳によりある程度復元する事が可能でした。起源は、明治の地租改正時に、課税用の地図を作成した頃にまで遡ります。現在でも官民境界を確認する立会いの際の資料として、参考にされる場合があります。

No.11759 明治～昭和戦前期に造られた土木構造物の全国調査について(回答)

旧久喜市と旧菖蒲町との間を流れる一級河川・備前堀川(びぜんぼりがわ)には、古策田堰(こざるたせき)という、明治期に竣工したレンガ造りの、農業用水取水堰が、修繕を繰り返しながら、現役で使用されています。

近代化遺産としても重要なものですが、これは、そういった建造物を全国調査した際の、久喜市の報告書です。

No. 9311 「吉羽大橋開通式」<ビデオテープ>

青毛堀川に架かる吉羽大橋は、公園橋として設計され、橋の上には、休憩所やカラクリ時計、凹面鏡等が設置されています。カラクリ時計は、音楽とともに人形が現れて回転する仕掛けとなっており、市民の皆様に親しまれています。このビデオテープは、平成5年7月14日に開催された「開通式」を記録したものです。

No.11573 久喜市全図(台風18号の被害状況)

昭和57年9月12日の台風18号による、久喜市内の道路浸水箇所を久喜の地図に記入し、その浸水状況を撮影した写真を地図に貼付したものです。こういった災害の蓄積された情報は、久喜市の防災計画や都市計画等を策定する上で、非常に役立ちます。市民の生命・財産を守るために必要な、未来に残すべき宝とも言えます。

No.10372 久喜駅西口第一種市街地再開発事業完成記念(モニュメント除幕式典)の開催について

久喜駅西口再開発事業の完成を記念して、当時の久喜市のキャッチフレーズ「風に見える街」をメインテーマとしたモニュメント(ブロンズ像)が製作されました。平成4年3月7日に、久喜駅西口交通広場において、その除幕式が行われ、これにより昭和50年代から進められてきた再開発事業は全て完了しました。

現在でもブロンズ像は、市民の皆様に親しまれています。

No.10376 写真帳(久喜駅西口周辺写真集)

久喜駅西口市街地再開発事業については、平成2年に工事が完了しました。この写真集は、昭和56年12月に、再開発される前の久喜駅西口周辺の風景を記録した、とても貴重なものです。現在では、もう見る事のできない久喜駅西口周辺の懐かしい様子が、カラー写真で67枚、モノクロ写真で13枚、アルバムに収められています。

【会計管理者】 出納室

【上下水道部】 水道業務課、水道施設課、下水道業務課、下水道施設課

No.10881 安全でおいしい 久喜の水<パンフレット>

今回の合併を記念して、久喜市の地下270メートルの水脈から汲み上げた、深井戸水を上下水道部(鷲宮支所内)等で販売中です。この水は、久喜市の水道水が安全でおいしいことをPRすると共に、災害時の備蓄用の水としても、重要なものです。このチラシは、その「安全でおいしい久喜の水」を広告するために作成されたものです。

**【議会事務局】 議会総務課 【選挙管理委員会事務局】 【監査委員事務局】 【公平委員会】
【固定資産評価審査委員会】 【農業委員会事務局】**

No.11934 昭和58年6月26日執行 参議院議員通常選挙 記録写真集

昭和58年6月に行われた、参議院議員選挙を記録した写真集です。当時の久喜市選挙管理委員会により、撮影されました。「ポスター掲示場」「不在者投票所」「立会演説会」「投票所」「開票所」の設営状況等が写されています。民主主義を守るため、選挙事務が適正に行われた事を記録する、重要な資料です。

**【教育部】 教育総務課、学務課、指導課、生涯学習課、文化財保護課、中央公民館、
中央図書館**

No. 1098 太田小学校 歴代校長写真掲額記念誌

平成3年10月に久喜市立太田小学校で作成された、額に飾られた歴代校長の写真を紹介した記念誌です。

No. 1103 清久小学校 開校百年記念誌

久喜市立清久小学校は、明治6年に六万部村・北中曾根村・中妻村が合同で設立した「豊明小学校」が、その起源となっています。これは、昭和49年3月に清久小学校で作成された、開校100周年を記念した本です。

No.12470 高病原性鳥インフルエンザの感染予防の徹底及び鶏などの飼育状況調査について

鳥インフルエンザは、強毒性で強い感染性を持つタイプのものがあります。鳥類のインフルエンザであるからといって、人間に無関係という訳ではなく、突然変異により、人間に爆発的に感染するウイルスに変化しないとも限りません。これらを防ぐには、鳥の病気の兆候を見逃さず、感染初期の段階で適切に対処する事が重要です。

これは、平成19年1月に宮崎県にて鳥インフルエンザが発生したことを受け、久喜市内の学校で飼育されている鶏等の状況を、緊急調査した時の記録です。

No. 5090 彩の国まごころ国体久喜市競技会バドミントン競技

平成16年に埼玉県で開催された国民体育大会(国体)において、久喜市は「バドミントン競技」の開催地となりました。これは、久喜市総合体育館において、平成16年10月24日～27日にかけて競技が行われた時の、広報用チラシとなります。100年後200年後には、こういったチラシは、ほとんど残らないと予想されるため、久喜市のみならず、埼玉県のスポーツ史を物語る、貴重な資料となるでしょう。

No.12468 ふじみ野市営プール事故に伴う久喜市民プール運営指定管理に対する状況聴取と指示について

平成18年7月31日、埼玉県内の「ふじみ野市立大井プール」で児童が亡くなる痛ましい事故が発生しました。この事故を受け、久喜市でも緊急に「久喜市民プール」の運営指定管理者に対し、現在の運営状況を聴取し、更なる安全運営のため、一層の注意を図るよう、指示した記録です。

事故や災害の記録は、市民の生命・財産を守るために必要な、残されるべき公文書となります。

**【菖蒲/栗橋/鷲宮総合支所】 総務管理課、しょうぶ会館、税務課、市民課、環境経済課、
福祉課、建設課**

No.10439 菖蒲町あやめ・ラベンダーの里ガイドマップ

菖蒲総合支所の周辺には、「あやめ園(見頃:6月中旬～下旬16,000株)」や「ラベンダー堤等(見頃:6月中旬～7月上旬9,600株)」があり、県内外から毎年多くの観光客の方々がいっぱいいます。会場内には、久喜市の特産品等を販売する店もあり、とても賑わっています。

これは、合併前の旧菖蒲町で作成された、ガイドマップです。久喜市の歴史を物語る大事な資料です。

No.11061 菖蒲町50年のあゆみ ビデオテープ

旧菖蒲町は、昭和29年9月1日に菖蒲町・三箇村・小林(おばやし)村・栢間(かやま)村・大山村大字上大崎が合併した事により誕生しました。これは、平成16年11月に、旧菖蒲町の町村合併50周年を記念して作られた町の紹介ビデオ(全15分)です。副題に「泣いた。笑った。生きた。」とあります。

ビデオの中では、旧菖蒲町の庁舎や、特産品である「梨」や「イチゴ」が紹介されています。

No.11065 菖蒲の梨100年記念誌、No.11066 菖蒲のいちご40年の歩み

久喜市は、「梨」や「いちご」が特産品として有名ですが、「梨」については、旧菖蒲町出身の五十嵐八五郎氏が、この地域に栽培技術を広めた歴史があります。「いちご」についても、旧菖蒲地域では、昭和29年から栽培が始まっています。この2冊の記念誌は、それぞれ平成6年と平成7年に出版されました。

No.11414 歴代町長額入り人物画 初代 松永東禹氏

松永東禹氏は、旧静村の村議会議長を、昭和24年11月から昭和28年10月まで務め、旧栗橋町・旧静村・旧豊田村が合併し、昭和32年に、新たな栗橋町が誕生した時の初代町長として活躍しました。

久喜市公文書館では、今回の合併後に、栗橋総合支所から、歴代町長の額絵8点及び歴代議長の額絵20点が移管され、所蔵しています。大きな物ですが、閲覧することもできます。

No.12313 赤花そばフェア花見の会プログラム

栗橋総合支所の周辺において、毎年10月下旬頃に「赤花そば祭り」が開催されています。赤花そばの花が、畑一面に咲き誇ります。会場では、お花見は、もちろんのこと、農産物等の販売も行われます。又、赤花そば茶の無料配布も好評を博しています。これは、旧栗橋町時代に開催された「赤花そばフェア」のプログラムです。

No.11127 巨大魚 ハクレンが翔ぶ

ハクレンは、中国原産のコイ科の淡水魚です。帰化生物として、利根川にも生息しています。全長1メートル以上にもなる大型魚でもあり、中国では唐揚げや煮魚といった料理に用いられています。産卵期(5月下旬～7月中旬)には、豪快なジャンプをする習性があり、利根川の旧栗橋町付近で見ることが出来ます。

これは、そのジャンプを記録したDVDです。

No.11146 鷺宮町名誉町民章

旧鷺宮町の合併40周年記念式典(平成7年10月29日)の際に、名誉町民となった元鷺宮町長の小倉富治氏に贈呈されたものと同様の「鷺宮町名誉町民章(予備品・純銀製)」です。今回の合併により、鷺宮総合支所から久喜市公文書館へ、行政資料として移管されました。久喜市では、「久喜市名誉市民に関する条例」により、旧市・旧町で名誉市民・名誉町民になっている方々を、「久喜市名誉市民」として引き続き顕彰しています。

No.12342 平成20年度長寿犬飼養表彰式

埼玉県幸手保健所管内狂犬病予防連絡協議会において、管内で飼われている15歳になった犬と、その飼い主を表彰する制度(長寿犬飼養表彰)があります。この冊子は、鷺宮総合支所に保管されていたものです。

No.11223 わしみや郷土かるた

「わしみや郷土かるた」は、鷺宮町制35周年を記念して、平成3年3月に旧鷺宮町と旧鷺宮町教育委員会により作成されました。鷺宮の歴史や自然、文化や産業をテーマにしたものです。

かるたの絵柄は、旧町内の小中学生により描かれました。又、よみ札についても同様に小中学生により考案されています。とても楽しい資料です。

久喜市公文書館が所蔵する歴史公文書の内訳 (平成24年8月21日現在)

地域名等 種類	旧久喜市での 成果	新久喜市での 成果	旧菖蒲町分	旧栗橋町分	旧鷺宮町分	計
特定歴史公文書	1,108	1,461	105	96	176	2,946
行政資料	8,393	396	145	130	174	9,238
計	9,501	1,857	250	226	350	12,184

久喜市公文書館 第3回企画展

「公文書で見る久喜市の組織・評価選別の成果と行政資料の数々」

平成24年8月21日発行 編集:久喜市総務部公文書館公文書係

発行所:久喜市公文書館 〒346-8501 埼玉県久喜市下早見85番地1

Tel 0480-23-5010 Fax 0480-22-1996 E-mail kobunsho@city.kuki.lg.jp